

患者の皆さまへ

当院では、保有する既存試料・情報を用いて下記の研究を実施しております。このような研究の実施に当たっては、研究対象者の方に研究の参加を拒否する権利が保障されております。(オプトアウト)
この研究に関するお問い合わせなどありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

研究機関名	市立豊中病院
倫理委員会承認日	2020年 4月10日
研究期間	2025年 3月31日 まで
研究の名称	肝門部狭窄に対する inside stent の有用性についての検討
研究対象	肝門部の胆道の狭窄に対してドレナージ目的でステントを留置した患者様
対象材料	診療記録
対象期間	2011年 8月～2019年 8月
研究の目的意義	<p>胆道狭窄に対する内視鏡プラスチックステント留置術および金属ステント留置術の安全性および有用性は確立されていますが、プラスチックステントは開存期間は短く、金属ステントは効果であり、また再治療が困難であるなどの問題点があります。</p> <p>近年ステントの加担を胆管内に留置するinside stentが考案され、十二指腸からの逆流がないことによる逆行性胆管炎やステント閉塞率の低下など有用性が報告されており、本研究ではinside stent留置後の開存期間について検討することを目的とします。</p>
方法	当院で2011年8月から2019年8月までにERCPを施行してinside stentを留置した近位胆管閉塞の患者の治療内容や検査結果を後方視的にデータ集積し、inside stentの有用性を解析します。
個人情報の取り扱い	本研究のデータは、研究目的の達成に必要な範囲を超えて取り扱わず、安全に管理する。研究結果から個人が特定されることはない。
問い合わせ先	市立豊中病院 内科 松本健吾 TEL 06-6843-0101